サントリーホールディングス株式会社

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた食品酒類総合企業として、
自然環境を守り育むことと、人々の生活を潤い豊かにすることとが共存し、
すべての生命が輝ける社会を、皆さまと共にめざしています。

担当者（問合せ先）：サステナビリティ経営推進本部　三枝　　連絡先：Naoki_Saegusa@suntory.co.jp



パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
多くのサントリー製品は水から生まれます。
豊かな地下水と生き物を育む「天然水の森」活動は、水のサステナビリティを支える基幹事業として行っています。その観点から下記森づくりに課題感を持ちながら取り組んでいます。
・水源涵養林としての高い機能を持った森林
・生物多様性に富んだ森林
・洪水・土砂災害などに強い森林
・豊かな自然と触れ合える美しい森林

＜企業等の強み等＞
・サントリーにとってサステナビリティは創業理念の追求そのものになります。
・20年以上にわたる「天然水の森」活動
・50年以上にわたる「愛鳥活動」
・「水育」を中心とした教育啓蒙活動
＜目標、実現したいこと＞
・「天然水の森」を中心とした森林整備による水源涵養力と生物多様多様性の向上
・水源涵養活動からのサントリーブランドの魅力化

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞
・水源涵養力と生物多様多様性の向上の為の「天然水の森」での整備活動
①間伐等の森林整備　②鹿柵による希少種保護　③湿地環境の再生と保全
④草原環境の再生
・「ネイチャーポジティブフォーラム～サントリー天然水の森～」を開催
・様々な企業関係者等を天然水の森にお連れして、生物多様性活動を共に行う風土づくり
・「森と水の学校」を開催（奥大山校）
・サントリー世界愛鳥基金の実施

＜次年度取組予定、構想＞
・水源涵養力と生物多様多様性の向上の為の「天然水の森」での整備活動
①間伐等の森林整備　②鹿柵による希少種保護　③湿地環境の再生と保全
④草原環境の保全
・「ネイチャーポジティブフォーラム～サントリー天然水の森～」を開催
・様々な企業関係者等を天然水の森にお連れして、生物多様性活動を共に行う風土づくり
・「森と水の学校」を開催（奥大山校）
・サントリー世界愛鳥基金の実施